



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社サンマルクホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3395 URL <https://www.saint-marc-hd.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤川 祐樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡村 淳弘 TEL 086-246-0309
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	70,895	9.8	3,644	39.1	3,839	39.4	2,540	162.0
2024年3月期	64,556	11.6	2,620	993.7	2,753	72.4	969	132.8

（注）包括利益 2025年3月期 2,487百万円（151.1%） 2024年3月期 990百万円（137.5%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	123.62	—	8.3	6.4	5.1
2024年3月期	47.47	39.18	3.2	5.6	4.1

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	71,461	30,856	43.2	1,410.08
2024年3月期	49,016	30,149	61.5	1,474.82

（参考）自己資本 2025年3月期 30,856百万円 2024年3月期 30,132百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	5,751	△22,748	14,581	14,247
2024年3月期	5,073	△2,801	△1,342	16,663

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,020	105.3	3.4
2025年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00	1,100	42.1	3.6
2026年3月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00		56.9	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	40,000	21.4	1,900	4.0	1,800	△9.1	800	△52.2	36.56
通期	81,000	14.3	4,500	23.5	4,400	14.6	2,000	△21.3	91.40

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社 (社名) 株式会社ゴリップ、株式会社牛かつもと村、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)、(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	22,941,111株	2024年3月期	22,777,370株
2025年3月期	1,058,319株	2024年3月期	2,346,200株
2025年3月期	20,551,717株	2024年3月期	20,425,161株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	23,197	23.9	2,268	△2.6	2,300	△4.9	2,124	265.4
2024年3月期	18,715	29.1	2,328	18.3	2,419	13.9	581	△77.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	103.35	-
2024年3月期	28.46	23.49

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	52,231	25,291	48.4	1,155.77
2024年3月期	34,836	24,922	71.5	1,218.99

(参考) 自己資本 2025年3月期 25,291百万円 2024年3月期 24,905百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3~4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(会計上の見積りの変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報の注記)	17
(重要な後発事象の注記)	17
4. その他	
(1) 役員の異動	18
(2) 仕入及び販売の状況（連結）	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善及び好調なインバウンド需要を背景に、一部に足踏みがみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の政策動向、ロシア・ウクライナ危機の長期化や不安定化する中東情勢などによる地政学リスクの高まり、原材料・エネルギー価格の高騰、不安定な為替変動など、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、経済活動の正常化による人流の回復が進む一方、原材料費の高騰、慢性的な人材面での供給不足による一層の賃上げ実施及び採用活動費の増加に加え、物価高騰による消費マインドの冷え込みにより、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、2021年5月に公表した中期経営計画を2024年5月に更新し、新中期経営計画における基本方針に掲げた各施策について取り組んでまいりました。鎌倉パスタ業態におきましては、当連結会計年度中に11店舗を出店し、下半期にかけて派生業態の開発に注力いたしました。サンマルクカフェ業態におきましては、小規模改装の実施やセルフレジの導入など、客数の回復、オペレーションの効率化により既存店の競争力の強化に取り組んでまいりました。また、2027年3月期以降の成長の軸となる第3のブランド確立に向けM&Aにより新業態の獲得を目指していたところ、2024年11月、12月と立て続けにインバウンドの取り込みや海外展開に強みを持つ牛カツ京都勝牛、牛かつもと村の牛カツ二大ブランドを獲得し、グループとしての成長の足固めに取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高708億95百万円（前期比9.8%増）、経常利益38億39百万円（前期比39.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は25億40百万円（前期比162.0%増）となりました。

なお、期中に当社グループ全業態で合計24店舗を出店し、当連結会計年度末の店舗数は、直営店813店舗、フランチャイズ店57店舗、合計870店舗体制となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業におきましては、ベーカリーレストランにつき、不採算店舗の整理に取り組みつ、経年劣化が進んだ店舗の改装に注力し業績改善に取り組んでまいりました。店舗数につきましては、「ベーカリーレストラン・サンマルク」は、直営店30店舗、フランチャイズ店8店舗、計38店舗となりました。また、「ベーカリーレストラン・バケット」は、業績が堅調に推移する中、当連結会計年度中に直営店3店舗出店し、これにより直営店69店舗となりました。

スパゲティ専門店「生麺専門鎌倉パスタ」につきましては、派生業態として並盛300gの「がつつり系スパゲッティ」を熱々の鉄板で提供する「てっぱんのスパゲッティ」の出店に注力するとともに、SNSを活用したデジタル販促に取り組んでまいりました。当連結会計年度中に直営店11店舗出店し、これにより直営店207店舗となりました。

回転ずし「すし処函館市場」につきましては、鮮度の高い季節ごとの創作寿司の開発等により業績は堅調に推移いたしました。店舗数につきましては、直営店5店舗、フランチャイズ店4店舗、計9店舗となりました。

ドリア専門店「神戸元町ドリア」につきましては、専門性を活かし出店を進める一方で、中華業態「台湾小籠包」につきましては、不採算店舗の整理により黒字化に向け取り組んでまいりました。当連結会計年度中に直営店3店舗出店し、これにより直営店59店舗となりました。

当社の実験業態につきましては、当連結会計年度中にファミレス業態の「FAMITERIA.8」を1店舗、天ぷら専門店「天ぷら天清」を1店舗出店し、これにより直営店7店舗となりました。

牛カツ定食業態の「牛カツ京都勝牛」につきましては、2025年1月以降、直営店1店舗、フランチャイズ店2店舗、計3店舗出店し、これにより直営店82店舗、フランチャイズ店35店舗、計117店舗となりました。また、同業態の「牛かつもと村」の店舗数につきましては、直営店30店舗となりました。

この結果、レストラン事業売上高は441億16百万円（前期比16.0%増）、営業利益は38億8百万円（前期比41.4%増）となりました。

喫茶事業におきましては、セルフサービス喫茶の「サンマルクカフェ」につきましては、ベーカリーカフェへの原点回帰によるパンを中心とした施策及びコラボレーションメニュー等の開発と販売促進に注力してまいりました。当連結会計年度中に直営店2店舗出店し、直営店277店舗、フランチャイズ店8店舗、計285店舗となりました。

フルサービス喫茶の「倉式珈琲店」につきましては、フードメニューの充実等により、ビジネスモデルの立て直しに取り組んでまいりました。店舗数につきましては、直営店47店舗、フランチャイズ店2店舗、計49店舗となりました。

この結果、喫茶事業売上高は267億79百万円（前期比0.9%増）、営業利益は22億38百万円（前期比38.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態は、総資産は714億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して224億44百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は210億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億64百万円の減少となりました。これは、M&Aの実施等により、売掛金が5億51百万円増加した一方、現金及び預金が24億15百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は503億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して240億9百万円の増加となりました。これはM&Aの実施に伴うのれん及び商標権の計上等により無形固定資産が213億4百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は163億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して84億60百万円の増加となりました。これはM&Aの実施に伴う借入れの実施により短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が67億50百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は242億55百万円となり前連結会計年度末と比較して132億76百万円の増加となりました。これはM&Aの実施に伴う借入れの実施及びM&Aを実施した会社が有する長期借入金を計上したことにより長期借入金が162億49百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して7億7百万円増加して308億56百万円となりました。これは新株の発行、親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び自己株式の取得等により株主資本が7億77百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は43.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得や借入れによる収入があった一方、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があったことから、前連結会計年度に比べ24億15百万円減少（14.5%減）し、142億47百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は57億51百万円となり、前連結会計年度と比べ6億78百万円の増加（13.4%増）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益29億31百万円、減価償却費26億93百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は227億48百万円となり、前連結会計年度に比べ199億46百万円の増加（711.9%増）となりました。

これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出205億53百万円の計上によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は145億81百万円となり、前連結会計年度に比べ159億23百万円の増加（前期は13億42百万円の使用）となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出76億30百万円の計上があった一方、借入れによる収入225億円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、賃金上昇やインバウンド需要の恩恵により、消費活動は回復傾向が続くと見込まれます。一方で、長期化する地政学的リスクや物価の高止まりから、消費マインドの大幅な回復は期待し難く、原材料費・電力料等のコストの増加傾向は継続すると見込まれるため依然として先行き不透明な状況が想定されます。

このような中、当社グループといたしましては、前期にグループインした牛カツ事業とのシナジー効果を早期に創出することで、管理業務の効率化、スケールメリットの活用によるコスト削減、販促手法の転用や店舗開発機能を活用した出店加速による全店売上の向上に努めてまいります。また、価値あるメニューの開発、サンマルクカフェ及び鎌倉パスタを中心に既存店の内外装に係るメンテナンスを行い、既存店売上の向上及びコストアップの抑制に努めるとともに、中長期での安定成長を見据えた事業ポートフォリオを強固なものとするため、既存業態のブラッシュアップ及び派生業態の開発を進め、新規出店につなげることで企業価値の向上に取り組んでまいります。

通期連結業績につきましては、売上高810億円（前期比14.3%増）、経常利益44億円（前期比14.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益20億円（前期比21.3%減）を見込んでおります。

なお、セグメント別の業績予想につきましては、次のとおりであります。

レストラン事業におきましては、売上高500億円（前期比13.3%増）、営業利益46億50百万円（前期比22.1%増）を見込んでおります。

喫茶事業におきましては、売上高310億円（前期比15.8%増）、営業利益27億90百万円（前期比24.6%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,663,120	14,247,481
売掛金	5,430,418	5,981,944
原材料及び貯蔵品	349,138	417,401
関係会社短期貸付金	655,874	372,000
その他	237,929	468,934
貸倒引当金	△674,146	△390,066
流動資産合計	22,662,333	21,097,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,697,410	12,676,471
工具、器具及び備品（純額）	889,643	1,129,407
土地	3,648,228	3,648,228
リース資産（純額）	—	2,504
その他（純額）	—	9,712
建設仮勘定	36,619	245,986
有形固定資産合計	15,271,902	17,712,310
無形固定資産		
のれん	—	16,890,320
商標権	518	4,417,737
ソフトウェア	63,520	40,142
その他	28,698	49,528
無形固定資産合計	92,736	21,397,729
投資その他の資産		
投資有価証券	920,219	258,042
繰延税金資産	2,118,746	2,776,635
敷金及び保証金	7,687,208	7,995,498
その他	263,852	225,149
貸倒引当金	—	△1,070
投資その他の資産合計	10,990,026	11,254,255
固定資産合計	26,354,665	50,364,295
資産合計	49,016,999	71,461,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,509	3,223,444
短期借入金	—	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,750,008
リース債務	—	4,470
未払金	3,492,384	3,672,931
未払法人税等	685,407	851,574
賞与引当金	93,673	93,069
資産除去債務	35,096	49,355
未払消費税等	783,787	791,097
その他	377,055	913,646
流動負債合計	7,888,914	16,349,598
固定負債		
社債	6,024,651	—
長期借入金	—	16,249,992
退職給付に係る負債	444,641	850,230
資産除去債務	4,413,571	5,606,877
繰延税金負債	—	1,423,983
その他	96,083	124,759
固定負債合計	10,978,948	24,255,843
負債合計	18,867,862	40,605,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	4,738,717
資本剰余金	3,038,800	6,046,339
利益剰余金	30,289,389	22,471,967
自己株式	△4,951,960	△2,372,211
株主資本合計	30,107,406	30,884,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,925	50,231
退職給付に係る調整累計額	—	△78,494
その他の包括利益累計額合計	24,925	△28,262
新株予約権	16,805	—
純資産合計	30,149,136	30,856,549
負債純資産合計	49,016,999	71,461,991

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	64,556,700	70,895,651
売上原価	15,661,896	17,686,167
売上総利益	48,894,803	53,209,483
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,195,246	1,273,436
貸倒引当金繰入額	1,598	△1,606
役員報酬	254,486	261,300
給料及び賞与	19,714,681	21,202,283
賞与引当金繰入額	93,673	83,848
退職給付費用	169,426	89,580
福利厚生費	1,420,366	1,588,995
教育研修費	337,692	456,537
旅費及び交通費	846,399	921,861
通信費	121,203	118,655
水道光熱費	3,478,125	3,512,120
消耗品費	3,117,653	3,252,407
租税公課	361,068	478,471
賃借料	9,510,163	9,565,606
修繕維持費	922,003	1,011,135
減価償却費	2,306,298	2,693,972
その他	2,423,877	3,056,141
販売費及び一般管理費合計	46,273,966	49,564,748
営業利益	2,620,837	3,644,734
営業外収益		
受取利息	2,572	3,327
受取配当金	2,221	4,133
受取賃貸料	213,385	186,238
受取補償金	82,379	210,404
その他	86,123	101,952
営業外収益合計	386,683	506,056
営業外費用		
支払利息	—	30,412
支払賃借料	186,913	162,447
中途解約違約金	14,009	39,845
その他	53,150	78,657
営業外費用合計	254,073	311,362
経常利益	2,753,446	3,839,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	6,000	1,021
受取保険金	25,329	—
特別利益合計	31,329	1,021
特別損失		
固定資産除却損	83,674	151,317
減損損失	788,080	432,387
災害による損失	8,854	—
関係会社株式評価損	133,774	—
貸倒引当金繰入額	205,874	30,000
投資有価証券売却損	—	3,931
退職給付費用	—	247,465
債権放棄損	—	44,000
特別損失合計	1,220,259	909,102
税金等調整前当期純利益	1,564,517	2,931,347
法人税、住民税及び事業税	695,614	975,754
法人税等調整額	△100,614	△585,015
法人税等合計	595,000	390,738
当期純利益	969,517	2,540,608
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	969,517	2,540,608

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	969,517	2,540,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,030	25,306
退職給付に係る調整額	—	△78,494
その他の包括利益合計	21,030	△53,187
包括利益	990,548	2,487,420
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	990,548	2,487,420
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,731,177	3,038,800	30,298,763	△4,738,556	30,330,184
当期変動額					
剰余金の配当			△961,681		△961,681
親会社株主に帰属する当期純利益			969,517		969,517
自己株式の取得				△381,222	△381,222
自己株式の処分			△17,210	167,818	150,608
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△9,374	△213,403	△222,778
当期末残高	1,731,177	3,038,800	30,289,389	△4,951,960	30,107,406

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,894	3,894	16,805	30,350,883
当期変動額				
剰余金の配当				△961,681
親会社株主に帰属する当期純利益				969,517
自己株式の取得				△381,222
自己株式の処分				150,608
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21,030	21,030		21,030
当期変動額合計	21,030	21,030	—	△201,747
当期末残高	24,925	24,925	16,805	30,149,136

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,731,177	3,038,800	30,289,389	△4,951,960	30,107,406
当期変動額					
新株の発行	3,007,539	3,007,539			6,015,079
剰余金の配当			△1,042,449		△1,042,449
親会社株主に帰属する当期純利益			2,540,608		2,540,608
自己株式の取得				△7,630,285	△7,630,285
自己株式の処分			△377,483	1,271,937	894,453
自己株式の消却			△8,938,097	8,938,097	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	3,007,539	3,007,539	△7,817,422	2,579,748	777,405
当期末残高	4,738,717	6,046,339	22,471,967	△2,372,211	30,884,812

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	24,925	—	24,925	16,805	30,149,136
当期変動額					
新株の発行					6,015,079
剰余金の配当					△1,042,449
親会社株主に帰属する当期純利益					2,540,608
自己株式の取得					△7,630,285
自己株式の処分					894,453
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,306	△78,494	△53,187	△16,805	△69,992
当期変動額合計	25,306	△78,494	△53,187	△16,805	707,413
当期末残高	50,231	△78,494	△28,262	—	30,856,549

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,564,517	2,931,347
減価償却費	2,306,298	2,693,972
減損損失	788,080	432,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,849	△603
貸倒引当金の増減額(△は減少)	207,472	△284,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	137,876	405,588
受取利息及び受取配当金	△4,793	△7,460
受取補償金	△82,379	△210,404
受取保険金	△25,329	—
支払利息	—	30,412
関係会社株式評価損	133,774	—
固定資産除却損	83,674	151,317
固定資産売却損益(△は益)	△6,000	△1,021
投資有価証券売却損益(△は益)	—	3,931
災害による損失	8,854	—
債権放棄損	—	44,000
売上債権の増減額(△は増加)	△1,033,185	246,604
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,285	△36,139
仕入債務の増減額(△は減少)	266,388	120,268
未払金の増減額(△は減少)	437,664	△158,307
その他	313,638	368,000
小計	5,099,115	6,729,794
利息及び配当金の受取額	2,229	8,465
補償金の受取額	82,379	210,404
保険金の受取額	25,329	—
利息の支払額	—	△33,204
法人税等の支払額	△135,853	△1,163,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,073,201	5,751,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,277,540	△2,531,075
有形固定資産の売却による収入	6,000	1,021
無形固定資産の取得による支出	△16,535	△2,609
投資有価証券の売却による収入	—	696,069
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,553,184
関係会社貸付けによる支出	△205,874	△74,000
資産除去債務の履行による支出	△716,781	△424,566
その他の支出	△242,668	△208,742
その他の収入	651,417	348,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,801,982	△22,748,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△381,222	△7,630,285
自己株式の処分による収入	—	823,675
短期借入れによる収入	—	5,000,000
長期借入れによる収入	—	17,500,000
長期借入金の返済による支出	—	△66,820
配当金の支払額	△961,150	△1,042,371
リース債務の返済による支出	—	△2,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,342,373	14,581,356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	928,845	△2,415,638
現金及び現金同等物の期首残高	15,734,275	16,663,120
現金及び現金同等物の期末残高	16,663,120	14,247,481

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

店舗等の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上している資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積額の変更を行っており、見積りの変更による増加額815,591千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益及び経常利益は11,353千円、税金等調整前当期純利益は117,432千円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、外食業態の運営を行うとともに、外食事業を展開する上での必要なインフラ機能（業態・商品開発機能、店舗開発機能、教育機能、管理機能等）を有しており、当社を含むグループ内の事業子会社が保有する既存の業態（既存店）の運営にできるだけ専念できる環境をつくるなどグループ内の機能設計を行っております。また各連結子会社はそれぞれ外食業態の運営を行っております。

したがって、当社グループは連結子会社を基礎としたセグメントから構成されており、「レストラン事業」及び「喫茶事業」の2つを報告セグメントとしております。

「レストラン事業」は、主に「ベーカリーレストラン・サンマルク」等の運営、「すし処函館市場」等の運営、「ベーカリーレストラン・バケット」等の運営、「生麺専門鎌倉パスタ」等の運営、「神戸元町ドリア」等の運営、「牛カツ京都勝牛」等の運営及び「牛かつもと村」等の運営を行っております。「喫茶事業」は、主に「サンマルクカフェ」の運営及び「倉式珈琲店」の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額 (注) 1・2	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	37,221,972	26,035,220	63,257,192	—	63,257,192
ロイヤリティ収入	80,048	42,907	122,956	—	122,956
FC関連等売上	720,393	456,158	1,176,551	—	1,176,551
外部顧客への売上高	38,022,414	26,534,285	64,556,700	—	64,556,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	38,022,414	26,534,285	64,556,700	—	64,556,700
セグメント利益	2,693,880	1,615,356	4,309,236	△1,688,399	2,620,837
セグメント資産	20,130,616	13,576,862	33,707,479	15,309,520	49,016,999
その他の項目					
減価償却費(注) 3・5	1,116,696	1,029,635	2,146,332	159,966	2,306,298
有形固定資産及び無形固定資産の増加額(注) 3・6	1,773,330	674,819	2,448,149	61,408	2,509,558

- (注) １．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,688,399千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- ２．セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に本社の管理部門に係る資産等15,309,520千円であります。
- ３．減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社資産に係るものであります。
- ４．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- ５．長期前払費用の償却額を減価償却費に含めております。
- ６．長期前払費用の増加額を有形固定資産及び無形固定資産の増加額に含めております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額 (注) 1・2	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	43,251,739	26,285,195	69,536,935	—	69,536,935
ロイヤリティ収入	115,950	46,346	162,297	—	162,297
FC関連等売上	748,405	448,012	1,196,418	—	1,196,418
外部顧客への売上高	44,116,095	26,779,555	70,895,651	—	70,895,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	44,116,095	26,779,555	70,895,651	—	70,895,651
セグメント利益	3,808,160	2,238,380	6,046,540	△2,401,806	3,644,734
セグメント資産	53,966,751	13,864,242	67,830,994	3,630,997	71,461,991
その他の項目					
減価償却費(注) 3・5	1,675,269	858,256	2,533,525	160,447	2,693,972
有形固定資産及び無形固定資産の増加額(注) 3・6	24,527,740	1,144,634	25,672,375	53,455	25,725,831

- (注) １．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,401,806千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- ２．セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に本社の管理部門に係る資産等3,630,997千円であります。
- ３．減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社資産に係るものであります。
- ４．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- ５．長期前払費用の償却額を減価償却費に含めております。
- ６．長期前払費用の増加額を有形固定資産及び無形固定資産の増加額に含めております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額	連結損益 計算書 計上額
	レストラン	喫茶	計		
減損損失	407,249	380,831	788,080	—	788,080

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額	連結損益 計算書 計上額
	レストラン	喫茶	計		
減損損失	252,109	180,277	432,387	—	432,387

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額	合計
	レストラン	喫茶	計		
当期償却額	433,085	—	—	—	433,085
当期末残高	16,890,320	—	—	—	16,890,320

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産	1,474円82銭	1,410円08銭
1株当たり当期純利益	47円47銭	123円62銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	39円18銭	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	969,517	2,540,608
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	969,517	2,540,608
普通株式の期中平均株式数(株)	20,425,161	20,551,717
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	4,319,496	—
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(4,163,700)	(—)
(うち新株予約権(株))	(155,796)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

該当事項はありません。

(2) 仕入及び販売の状況（連結）

① セグメント別仕入実績

（単位：千円）

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	11,753,936	119.3
喫茶	5,917,323	101.7
合計	17,671,260	112.8

② セグメント別販売実績

（単位：千円）

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	44,116,095	116.0
喫茶	26,779,555	100.9
合計	70,895,651	109.8

③ 種類別販売実績

（単位：千円）

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	43,251,739	116.2	115,950	144.9	748,405	103.9	44,116,095	116.0
喫茶	26,285,195	101.0	46,346	108.0	448,012	98.2	26,779,555	100.9
合計	69,536,935	109.9	162,297	132.0	1,196,418	101.7	70,895,651	109.8